

独 教 研 第 32 号
令和 6 年 5 月 14 日

各都道府県教育委員会教育長
各指定都市教育委員会教育長
各中核市教育委員会教育長 殿
各 都 道 府 県 知 事
附属学校を置く各国公立大学法人の長

独立行政法人教職員支援機構
理事長 荒 瀬 克 己

令和 6 年度産業・情報技術等指導者養成事業の実施について（依頼）

平素より、教職員支援機構の事業に御協力いただき、誠にありがとうございます。

さて、令和 6 年度の標記事業につきましては、別添実施要項のとおり実施いたします。

については研修システムにより、実施要項に記載の期日までに、参加者の推薦をお願いします。
研修システムのアカウント発行については、別添 4「研修システムアカウント発行用情報について」を参照してください。

なお、各中核市教育委員会におかれましては、様式 1「推薦名簿」により、各都道府県教育委員会を通じて推薦をお願いします。

実施要項等は、当機構 Web ページ (<https://www.nits.go.jp/training/003/001.html>) よりダウンロード可能となっております。

本事業の目的は、各学校・地域における研修の講師等としての活動や、各学校への指導・助言等を受講者が行うことです。各都道府県教育委員会及び各指定都市教育委員会におかれましては、事業の目的を御理解の上、適切な方を御推薦いただくとともに、受講者の成果活用に御配慮いただきますよう、よろしくお願いします。

【本件連絡先】

〒305-0802 茨城県つくば市立原 3 番地
独立行政法人教職員支援機構
教職員の学び協働開発部研修推進課 坂上
TEL 029-879-6638
FAX 029-879-6645
Mail sangyou^{エムエス}@ml.nits.go.jp

令和 6 年度産業・情報技術等指導者養成事業 実施要項

1 目 的

本事業は、学校における実習等の授業の質の向上を図るため、急速に発展・進歩する産業技術、情報技術等について、情報化・技術革新その他社会情勢の変化に適切に対応した最新の知識・技術を習得させ、受講者が各地域で行われる研修の講師等や各学校への指導・助言等を行うことを目的としている。

2 主 催 独立行政法人教職員支援機構

3 共 催 文部科学省、教育関係団体・大学等（[別添 2]のとおり）

4 期間、会場、定員、教科、内容等

[別添 2]のとおり

5 受講者

(1) 受講資格

- ①各都道府県・指定都市・中核市教育委員会の指導主事及び教育センターの研修担当主事並びにこれに準じる者
- ②高等学校、中等教育学校又は中学校等（特別支援学校の高等部、中等部を含む）で産業教育を担当する教諭等

(2) 推薦人数

受講定員は、[別添 2]のとおりとする。ただし、定員を超える推薦があった場合でも受講が可能な場合があるので、積極的な推薦を行うよう努めること。

(3) 推薦手続

推薦期限は、令和 6 年 6 月 17 日（月）とする。

推薦する機関においては、候補者を取りまとめて「研修システム」により推薦を行う。ただし、中核市教育委員会においては、[様式 1]により都道府県教育委員会に連絡し、都道府県教育委員会が「研修システム」により推薦を行う。

(4) 参加者の決定

各都道府県、指定都市教育委員会等からの推薦に基づき、教職員支援機構が決定し通知する。定員を大幅に超過する場合は、受講者数を調整する場合がある。

6 経 費

本事業に係る経費については、受講者一人当たり[別添 2]に定める「受講費限度額」の範囲内において派遣者または受講者が負担するものとする。

「受講費」の支払額及び支払い方法については、研修終了後、約 3～4 か月を目処に、教職員支援機構より別途通知する。

※詳細は、[様式 1]「推薦名簿」の「記入上の注意」を参照のこと。

7 その他

「全国教員研修プラットフォーム(以下、「プラットフォーム」という)を利用している自治体からの参加者に関しては、プラットフォームへの本研修の修了状況の登録を当機構で行う。

登録に当たって、参加者のプラットフォームログイン ID が必要となるため、プラットフォームを利用している自治体は、推薦を行う際に研修システムより候補者毎にプラットフォームログイン ID を入力すること。

推薦者は、修了者に対し、受講の成果を効果的に活用する機会の提供、確保等の配慮をすること。

令和6年度 産業・情報技術等指導者養成事業

【別添2】

教科 [研修分野]		講習 番号	定員	実施期間	主な実施場所	研修テーマ	研修内容	実施団体	受講費 限度額
高等学校	工業	B-1	20	令和6年8月5日(月) ～8月23日(金) ＜オンライン＞ 8/5(月) ＜対面＞ 8/20(火)～8/23 (金)	オンライン(8/5) 学校法人金沢工業大学 (石川県野々市市)	教科「工業」における授業改善に 関する講義と演習 ～工業科におけるPBL実践法～	高等学校学習指導要領の教科「工業」の各科目について、生徒 が課題の発見・解決に向けて主体的・協働的に学ぶような授業 の改善にむけて、講義やPBLに関する演習を通して、指導力を 高めることを目指した研修	学校法人 金沢工業大学	49,800
	商業	C-1	40	令和6年7月29日(月) ～8月2日(金)	学校法人千葉学園 千葉商科大学 (千葉県市川市)	教科「商業」における「指導と評価 の一体化」のための学習評価の 在り方に関する講義と実習	学習評価の実践事例、教科「商業」の指導内容・指導方法及び 商業教育の充実に関するディスカッションなどを通して、指導力 を高めることを目指した研修	学校法人千葉学園 千葉商科大学	23,400
	家庭	E-1	20	令和6年8月20日(火) ～8月22日(木)	全国高等学校長協会 家庭部会事務局 (東京都千代田区) 学校法人食糧学院 東京栄養食糧専門学校 (東京都世田谷区)	社会の変化に対応した衣食住、 ヒューマンサービス等の生活産業 に関する講義と実習	衣食住、保育などのヒューマンサービスに関わる生活産業の最新 情報や消費者教育の推進に向けた講義、実習などを通して、 家庭科の指導力を高めることを目指した研修 なお、受講者には、年間指導計画(指導と評価の計画)及び学 習指導案等の事前課題提出を求める場合がある。	全国高等学校長協 会 家庭部会	19,300
	看護	F-1	20	令和6年8月5日(月) ～8月7日(水)	オンラインによる実施	高等学校看護科における教育を 充実するための講義と演習	教科「看護」の指導内容・方法に関する講義や、指導計画・学 習評価に関する演習を通して、看護科指導力を高めることを目 指した研修 なお受講生は、学習指導に関する事前課題を提出すること。	国立大学法人 弘前大学	20,000
	情報	G-1	20	令和6年8月5日(月) ～8月7日(水)	大阪公立大学健康科 学イノベーションセン ター (大阪府大阪市北区)	教科「情報」における主体的・対 話的で深い学びの実現、探究的 な学び、実践的、体験的な学びの 充実に関する講義と演習	教科「情報」における主体的・対話的で深い学びの実現のため 探究的な学びの充実や実践的、体験的な学びの充実を図るよ う指導力の向上を目指す。講義、演習、企業見学を行う。	一般社団法人 デジタル人材共創連 盟	49,000
中学校	技術・ 家庭 (技術)	I-1	20	令和6年7月22日(月) ～7月25日(木)	オンラインによる実施	技術によってよりよい生活や持続 可能な社会を構築する資質・能 力の育成を目指した技術分野の 指導と評価	材料と加工、生物育成、エネルギー変換、情報等のテクノロ ジーについて理解させるとともに、これらを用いて社会における 問題を解決できる資質・能力を育成するための指導と、学習評 価に関する研修 ※オンライン研修での実施を予定	国立大学法人 宮城教育大学	39,900
		I-2	16	令和6年8月21日(水) ～8月23日(金)	信州大学教育学部 (長野県長野市)	デジタルものづくりと情報の技術	情報の技術と他の内容の技術を横断した、デジタルものづくり を中心に、そのテクノロジーについて理解させるとともに、これ らを用いて社会における問題を解決できる資質・能力を育成す るための指導に関する研修	国立大学法人 信州大学	25,700
	技術・ 家庭 (家庭)	J-1	20	令和6年8月1日(木) ～8月2日(金)	埼玉大学 (埼玉県さいたま市)	技術・家庭(家庭分野)指導者養 成研修「家庭科を広げる・深める」	学習指導要領を踏まえた食生活・衣生活、保育、消費生活・環 境に関する講義、実験・実習などを通して知識及び技能の習 得、ワンランクアップを目指した研修。なお、受講者は指導計画 や実践に関する事前課題を提出すること	国立大学法人 埼玉大学	37,200

日 程 表

〔 高 等 学 校 〕

【 工 業 : B - 1 】
【 商 業 : C - 1 】
【 家 庭 : E - 1 】
【 看 護 : F - 1 】
【 情 報 : G - 1 】

〔 中 学 校 〕

【 技 術 : I - 1 】
【 技 術 : I - 2 】
【 家 庭 : J - 1 】

※ 添付した各教科の日程表については、5月9日現在のものであり、今後変更になる場合もあります。

(別紙様式 1)

令和 6 年度産業・情報技術等指導者養成事業日程

(工業, B-1)

団体名 金沢工業大学

時 限	1 時限 8:40～10:20		休 憩	2 時限 10:35～12:15	昼 休 み	3 時限 13:15～14:55	休 憩	4 時限 15:10～16:50	自主活動時間 17:05～ 18:00
8 月 5 日 (月) オンライン	開講式 オリエン テーション 約 20 分	(講義) 振り返りと 生徒への働きかけ	休 憩	(講義) PBL 概論	昼 休 み	(講義・演習) プロジェクト活動 テーマ説明	休 憩	(講義・演習) プロジェクト活動 課題検討	質疑応答
8 月 20 日 (火) 対面	(講義・演習) プロジェクト活動 状況把握		休 憩	(講義・演習) プロジェクト活動 解決策検討	昼 休 み	(講義・演習) プロジェクト活動 フィールドワーク準備	休 憩	(講義・演習) プロジェクト活動 中間発表	質疑応答
8 月 21 日 (水) 対面	(実習) プロジェクト活動 フィールドワーク		休 憩	(実習) プロジェクト活動 フィールドワーク	昼 休 み	(実習) プロジェクト活動 フィールドワーク	休 憩	(実習) プロジェクト活動 フィールドワーク	質疑応答
8 月 22 日 (木) 対面	(講義・演習) プロジェクト活動 プレゼン資料作成		休 憩	(講義・演習) プロジェクト活動 活動発表	昼 休 み	(演習) リフレクション	休 憩	(講義・演習) ループリック作成演習	質疑応答
8 月 23 日 (金) 対面	(講義・演習) ループリック作成演習		休 憩	(講義・演習) ループリック作成演習	昼 休 み	(講義・演習) ループリック作成演習	休 憩	(講義・演習) 教科「工業」に関する 文部科学省施策の動向(仮題)	閉講式 16:30～ 17:00

実施会場：金沢工業大学（対面 石川県野々市市）、Zoom（オンライン）

(別紙様式1)

令和6年度産業・情報技術等指導者養成事業日程

団体名 千葉商科大学

(商業、C-1)

日 時	9:00			10:00		10:30		10:40		12:10		13:10		14:40		14:50		16:20		16:30		17:00			
	1限				休	2限				昼休み		3限		休	4限				休	5限					
7月29日 (月)		9:30受付開始	開講式 (10:00～)	休 憩	教科「商業」における 「指導と評価の一体化」のための 学習評価の在り方 文部科学省初等中等教育局参事官 (高等学校担当) 付産業教育振興室 教科調査官 岩館 良伸				昼休み				新学習指導要領を踏まえた マーケティング分野の学習評価の 在り方・進め方① 富山県教育委員会教育みらい室 県立高校課高校教育担当 指導主事 山科 博子		休 憩	新学習指導要領を踏まえた マーケティング分野の学習評価の 在り方・進め方② 富山県教育委員会教育みらい室 県立高校課高校教育担当 指導主事 山科 博子				休 憩	振り返り				
7月30日 (火)	新学習指導要領を踏まえた 分野共通の科目の学習評価の 在り方・進め方① 宮崎産業経営大学経営学部 教授 笠木 秀樹				休 憩	新学習指導要領を踏まえた 分野共通の科目の学習評価の 在り方・進め方② 宮崎産業経営大学経営学部 教授 笠木 秀樹							新学習指導要領を踏まえた マネジメント分野の学習評価の 在り方・進め方① 東京都立第五商業高等学校 主任教諭 会津 拓也		休 憩	新学習指導要領を踏まえた マネジメント分野の学習評価の 在り方・進め方② 東京都立第五商業高等学校 主任教諭 会津 拓也				休 憩	振り返り				
7月31日 (水)	新学習指導要領を踏まえた 会計分野の学習評価の在り方・進め方① 関西学院大学商学部 助教 西嶋 達人				休 憩	新学習指導要領を踏まえた 会計分野の学習評価の在り方・進め方② 関西学院大学商学部 助教 西嶋 達人							専門家から学ぶ①～ これからの会計教育 (13:10～14:10) 日本商業教育振興会 代表理事 小島 一富士 (公認会計士)		先進校から学ぶ①～マイス ター・ハイスクール事業成果 報告 (14:10～15:10) 福井県立坂井高等学校 校長 清水 一広		休 憩	先進校から学ぶ②～ 「マーケティング」の 効果的な指導方法 (15:20～16:20) 埼玉県立越谷総合技術高等学校 教頭 内田 靖 日本大学商学部 教授 岸本 徹也		休 憩	振り返り				
8月1日 (木)	新学習指導要領を踏まえた ビジネス情報分野の学習評価の 在り方・進め方① 群馬県立高崎商業高等学校 教頭 石関 英樹				休 憩	新学習指導要領を踏まえた ビジネス情報分野の学習評価の 在り方・進め方② 群馬県立高崎商業高等学校 教頭 石関 英樹							企業から学ぶ～ プログラミング入門講座・アプリ制作実習① アジアル情報教育研究所 所長 岡本 雄樹		休 憩	企業から学ぶ～ プログラミング入門講座・アプリ制作実習② アジアル情報教育研究所 所長 岡本 雄樹				休 憩	振り返り				
8月2日 (金)	専門家から学ぶ②～ 教科情報科のねらいと それを踏まえた代替履修の在り方 愛媛県立松山商業高等学校 校長 田中 圭				休 憩	専門家から学ぶ③～ 商業教育の魅力と 学習指導要領に込めた思い 千葉商科大学商経学部 教授 西村 修一							商業教育の現状と今後の方向 文部科学省初等中等教育局参事官 (高等学校担当) 付産業教育振興室 教科調査官 岩館 良伸		休 憩	閉講式 (～15:20)									

実施会場：千葉商科大学（千葉県市川市）

(別紙様式1)

令和6年度産業・情報技術等指導者養成事業日程

(家庭 E-1)

団体名 全国高等学校長協会家庭部会

	月日	午前1（9時30分～11時）		休憩	午前2（11時～12時30分）		昼食 休憩	午後1（13時30分～15時）		休憩	午後2（15時～16時30分）		実施 会場	
	（曜）	9:30	10:00		11:00	12:30		13:30	15:00 16:30					
1	8月20日 （火）	【開 講 式 】	【講義】 「学習指導要領の よりよい実施に向けて」 文部科学省初等中等教育局 教科調査官 田邊 暁子		【講義】 「これからの家庭科教育が担うこと ～生徒のWell-beingの向上を目指して～」 前栃木県立佐野東高等学校長 佐野日本大学短期大学 教授 飯塚 晃代			【講義】 「金融教育拡充の経緯と今後について ～高校での金融教育で 気をつけたいこと～」 金融教育家 塚本 俊太郎			【講義】 「保育の指導、実習のポイント」 聖徳大学 教授 河合 優子		全国高等学校長協会 家庭部会事務局会議室 （千代田区）	
2	8月21日 （水）	【講義・演習】 「生きる力を育てる食育 ～食の多様性と災害時の食事計画～」 学校法人食糧学院 東京栄養食糧専門学校 校長 渡邊 智子						【実習・講義】 「日常でも役立つ災害時の食事作り ～簡単に美味しく栄養的に～」 学校法人食糧学院 東京栄養食糧専門学校 准教授 金澤 敏文					学校法人食糧学院 東京栄養食糧専門学校 （世田谷区）	
3	8月22日 （木）	【講義・演習】 「SDGsの視点を取り入れた授業計画 ～ホームプロジェクトと 学校家庭クラブの充実へ～」 茨城大学 教育学部 教授 石島 恵美子			【講義】実践例 「地域を巻き込んだ家庭科教育」 長野県屋代南高等学校 教諭 柿崎 史恵			【まとめ・研究協議】 「研修のまとめ」 文部科学省初等中等教育局 教科調査官 田邊 暁子		14:30	14:40	15:00	【閉 講 式 】	全国高等学校長協会 家庭部会事務局会議室 （千代田区）

実施会場：全国高等学校長協会 家庭部会事務局会議室（東京都千代田区） 学校法人食糧学院 東京栄養食糧専門学校（東京都世田谷区）

(別紙様式 1)

令和 6 年度産業・情報技術等指導者養成事業日程

(看護 F-1)

団体名 弘前大学大学院保健学研究科

日 時	8:30	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00		
8 月 5 日 (月)		(30) 受 付	(30) 開 講 式	(120) 9:30-11:30 【講義】 教育の理念、教育 に関する歴史及び 思想 教職の意義及び教員 の役割・職務内容	(60) 昼休み	(180) 12:30-15:30 【講義・演習】 生徒指導の理論及び方法		10 休 憩	(100) 15:40-16:40 【講義】 高等学校における看護 教育 16:40-17:20 【講義】 看護科の授業の実際			
8 月 6 日 (火)			(120) 9:00-11:00 【講義】 看護科教育の目標 及び内容	10 休 憩	(70) 11:10-12:20 【講義】 授業設計の 概要	(60) 昼休み	(70) 13:20-14:30 【講義】 情報機器及 び教材の活 用法	10 休 憩	(70) 14:40-15:50 【講義】 学習指導案の 作成	10 休 憩	(60) 16:00-17:00 【演習】 情報交換会	
8 月 7 日 (水)			(210) 9:00-12:30 【演習】 より良い学習指導案作成にむけて			(30) 閉 講 式						

実施会場： オンライン会場 (Zoom)

(別紙様式 1)

令和 6 年度産業・情報技術等指導者養成事業日程

(情報 G-1)

団体名 (一社) デジタル人材共創連盟

日 時	9:00	9:30	10:00	11:00	12:00	13:00	15:00	17:00
8 月 5 日 (月)			開 会 式	学習指導要領の円滑な 実施について 講義 講師: 田崎丈晴 国立教育政策研究所	昼食	プログラミング 講義・実習 講師: 稲川孝司 大阪公立大学	情報デザイン 講義・実習 講師: 竹中章勝 奈良女子大学	
8 月 6 日 (火)		主体的・対話的で 深い学びの実現に向けた 講義・実習 講師: 益川弘如 聖心女子大学			昼食	データ活用 講義・実習 講師: 大橋眞也 順天堂大学	研修の振り返り 前年度受講生を交えた 研究・協議 講師: 鹿野利春 京都精華大学 講師: 川浪隆之 大阪樟蔭高等学校	
8 月 7 日 (水)			見学・実習 A 協働ロボット開発	昼食	見学・実習 B 5G X LAB	見学・実習 C 自律走行機器		

実施会場: 大阪公立大学健康科学イノベーションセンター (大阪府大阪市北区)

※8/7 は大阪南港 ATC 研究施設

(別紙様式 1)

令和 6 年度産業・情報技術等指導者養成事業日程

(技術・家庭(技術)、I-1))

団体名 国立大学法人 宮城教育大学

日 時	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
7月22日 (月)	9:00-9:20 受付	9:20-9:50 開講式	10:00-12:00 (講義) 学習指導要領における技術分野の指導 (講師:渡邊)	昼休み	13:10-14:40 (講義/演習) 生活や社会を支える情報技術(情報モラル) (講師:岡本)	14:50-16:50 (講義/演習) 生活や社会を支える情報技術(情報セキュリティ) (講師:岡本)			
7月23日 (火)	9:00-10:30 (講義) 技術分野の学習評価 (講師:渡邊)		10:40-12:10 (講義) 技術科教育の授業づくり (講師:吉岡)	昼休み	13:10-14:40 (講義/演習) 技術科教育と生成AI (講師:板垣)	14:50-16:50 (講義/演習) ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツのプログラミング (講師:板垣)			
7月24日 (水)	9:00-10:30 (講義/演習) KiCadを使ったオリジナル回路基板設計1 (講師:堤)		10:40-12:10 (講義/演習) KiCadを使ったオリジナル回路基板設計2 (講師:堤)	昼休み	13:10-14:40 (講義/演習) エネルギー変換の技術(機械)における授業設計 (講師:中西)	14:50-16:50 (講義/演習) STEAM教育の観点から考えるエネルギー変換の技術(機械)の授業 (講師:中西)			
7月25日 (木)	9:00-10:30 (講義) 生物育成分野の目的・作物栽培技術の基礎 (講師:金澤)		10:40-12:10 (講義/実習) 作物管理実習を通じた作物成長の原理・法則の理解 (講師:金澤)	昼休み	13:10-14:40 (講義/演習) ロボコンと計測・制御のプログラミング1 (講師:吉岡)	14:50-16:30 (講義/演習) ロボコンと計測・制御のプログラミング2 (講師:吉岡)		16:30-17:00 閉講式	

実施会場： オンライン

(別紙様式 1)

令和 6 年度産業・情報技術等指導者養成事業日程

(技術・家庭(技術)、I-2)

団体名 信州大学教育学部

日 時	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
8月21日(水)		開講式 (9:30～ 10:00)	(講義 1 10:00～11:00) 内容： ：デジタルものづくりと技術教育	(実習 1 11:00～12:00) 内容： ：デジタルものづくり・3D スキャン活用	昼休み	(講義 2 14:00～15:00) 内容： ：3Dによるデジタルものづくり	(実習 2 15:00～17:00) 内容：デジタルものづくり・3D-CAD・3Dプリンティングによる材料加工の技術「3D-CAD演習と3Dプリンタの活用」		
8月22日(木)	(講義 3 (9:00～10:00) 内容：デジタルものづくりと学習指導要領		(実習 3 10:00～12:00) 内容：デジタルものづくり・レーザーカッターによる材料加工の技術「各種ケース作り」		昼休み	(講義 4 13:00～14:00) 内容： ：デジタルものづくりの実践紹介	(実習 4 14:00～17:00) 内容：デジタルものづくりによるエネルギー変換の技術および情報の技術「サーボ制御部品の制作と計測・制御」		
8月23日(金)	(講義 5 9:00～10:00) 内容：建築におけるデジタルものづくり		(実習 5 10:00～12:00) 内容： ：デジタルものづくり・CNCによる材料加工(木材)の技術		昼休み	(演習 13:00～14:00) 内容： デジタルものづくりの授業づくり	(研究協議 14:00～16:00) 内容：デジタルものづくりと授業作りのディスカッション(全体発表)		閉講式 (16:00～ 16:30)

実施会場：信州大学教育学部(長野県長野市)

(別紙様式1)

令和6年度産業・情報技術等指導者養成事業日程

(技術・家庭(家庭), J-1)

団体名 : 国立大学法人埼玉大学

日 時	9:00		10:00		11:00		12:00		13:00		14:00		15:00		16:00		17:00	
8月1日 (木)	9:00 開 会式 9:05 オ リンテー ション	休 憩 十 分	9:25-10:45 (80分) (講義)「資質・能力の育成を 目指した家庭分野の指導と 評価」 (担当)熊谷有紀子(文部科 学省初等中等教育局教科調 査官)	休 憩 十 五 分	11:00-12:00 (60分) (演習)「資質・能力の育 成を目指した家庭分野の 指導と評価」 (担当)熊谷有紀子(文部 科学省初等中等教育局 教科調査官)	昼食	13:00～14:20 (80分) (講義・演習)「食育における食 品安全性」 (担当)山本和貴(農業・食品 産業技術総合研究機構)	休 憩 十 五 分	14:35～16:05 (90分) (講義・演習) 「日本の衣生活と現在の日本 の繋がり」 (担当)高橋美登梨(埼玉大 学)・大矢幸江(昭和学院短 大)	休 憩 十 分	16:15～ 17:05 (50 分) 情報交換会	片 付 け 十 五 分						
8月2日 (金)	9:05諸 連絡		9:15～10:35 (80分) (講義・演習)「絵本と子ども 絵 本の読みあいワークショップ」 (担当)吉川はる奈(埼玉大学)・ 安東英里佳(文京学院大学)	休 憩 十 分	10:45～12:05(80分) (講義)「高齢社会とエイ ジングの学習」 (担当)重川純子(埼玉大 学)・工藤由貴子(和洋女 子大学)	昼食	13:00～14:30 (90分) (講義・演習)「住まい・住生活 と環境」 (担当)亀崎美苗(埼玉大)・正 岡さち(島根大学)・田中宏子 (滋賀大学)・榎本ヒカル(相模 女子大)	休 憩 十 五 分	14:45～16:05 (80分) (振り返り及び発表)「技術・家 庭科(家庭分野)における指 導の充実」 (担当)吉川はる奈・亀崎美 苗・上野茂昭・高橋美登梨 (埼玉大学)	休 憩 十 分	16:15 閉会 式 修了証授与 アンケート回 収、諸連絡							

実施会場: 埼玉大学(埼玉県さいたま市)

研修システムアカウント発行用情報について

研修システムのアカウント発行に当たっては、別添 5『「研修システム」による参加者の推薦について』を参照の上、下記アカウント発行用情報を使用してください。

研 修 名	産業・情報技術等指導者養成事業
アカウント 発行ページ	https://training.nits.go.jp/#/PCreateAccount?url_cd=MhQ8PRmErtcL96ZP2YasJXfYhS7kZx&nendo=2024&kensyu_cd=202431
アカウント 発行用コード	r06Q3wUAe6

「研修システム」による参加者の推薦について

1. はじめに

当機構では、「研修システム」を導入し、Web サイト（ <https://www.nits.go.jp/training/> ）から参加者の推薦を受け付けております。研修システムを利用するための「アカウント発行用コード」は、研修実施の案内メール及び別添 4「研修システムアカウント発行用情報について」に記載していますので、御確認ください。

アカウント発行方法、ログイン方法等については、次頁以降を御参照ください。詳しい操作方法については、研修システムへのログイン後、ポータル画面から操作マニュアルをダウンロードし、御一読願います。

***お送りする「アカウント発行用コード」は、研修ごとに異なっています。他の研修には使用できません。**

***アカウント発行前に、担当者が代わる場合は、後任の担当者へ「アカウント発行用コード」を必ず引継ぎしてください。**

***アカウント発行後に、担当者が代わる場合は、後任の担当者へ「ID」及び、登録した「パスワード」を必ず引継ぎしてください。**

2. 研修システムの推薦担当者アカウント発行、初回ログイン方法について

- ① 当機構からお送りしたメール及び別添 4 に記載してある URL にアクセスします。

研修名：産業・情報技術等指導者養成事業

次回ログイン時に、以下アカウント発行用コードが必要となります。

【0000000000】

以下のURLにアクセスしてアカウント発行用コードによる認証を実施してアカウントを発行してください。
https://training.nits.go.jp/#/PCreateAccount?url_cd=0000000000

- ② 推薦担当者アカウント発行画面が表示されたら、必要な項目を入力し、「アカウント作成」をクリックします。なお、アカウント発行用コードは①のメール及び別添 4 に記載してあります。

NITS

推薦担当者アカウント発行画面

推薦機関とアカウント発行用コード、メールアドレスを入力してください。

研修	教育相談基幹研修
都道府県	<input type="text"/>
機関名	<input type="text"/>
ID	P202205d07KQG
アカウント発行用コード	<input type="text"/>
メールアドレス	<input type="text"/>

研修名が合っているか確認

正しい所属機関名を選択（大学は附属学校・教職大学院で分かれているので注意）

ID は自動的に作成されます

アカウント作成

- ③ アカウント作成後、「推薦担当者登録」画面が表示されたら、必要な項目を入力し、「登録」をクリックします。なお、メールアドレスは、御所属先のドメイン（@XXXX.ac.jp 等）のものを御登録ください。

推薦担当者登録

研修名	研修デザイン力育成セミナー	推薦機関名	教職員支援機構
ID	<input type="text"/>		

備考、メールアドレス 2、メールアドレス 3 以外は必須項目です。

担当者氏名	担当者 太郎		
フリガナ	タントウシャ タロウ		
所属	郵便番号	123-4567	
	所在地	△△市△△町△-△△△ビル△△	
	名称	△△△△教育委員会 △△課	
	電話番号	01-2345-6789(1234)	
	備考(電話番号用)	内線番号、宛て等	
	FAX番号	01-2345-6789	
メールアドレス 1	xxxx@xxxx.co.jp		
メールアドレス 2	xxxx@xxxx.co.jp		
メールアドレス 3	xxxx@xxxx.co.jp		
パスワード	<input type="password"/>		
パスワード(確認入力)	<input type="password"/>		

パスワードは、数字と英字まじりの 8 ～ 30 文字を設定してください。

登録

担当者氏名
フリガナ
所属

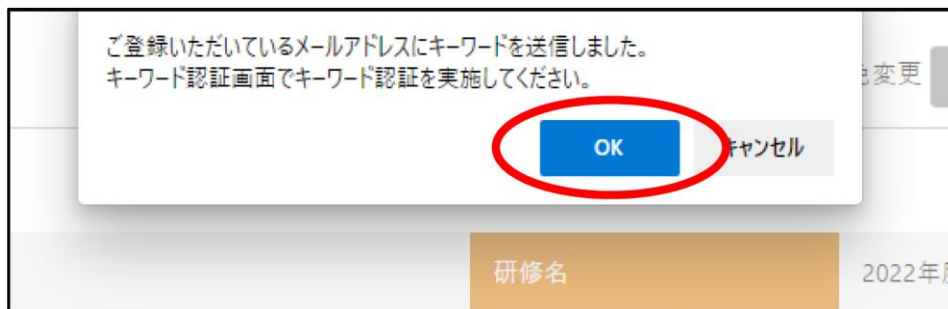
メールアドレス

※登録するパスワードは、忘れないようにメモするなどの管理をお願いします。

- ④ 下図の確認ダイアログが表示されるので、「OK」をクリックします。



- ⑤ 下図の確認ダイアログが表示されると、入力したメールアドレス宛にメールが送信されるので確認してください。メール確認後、「OK」をクリックします。

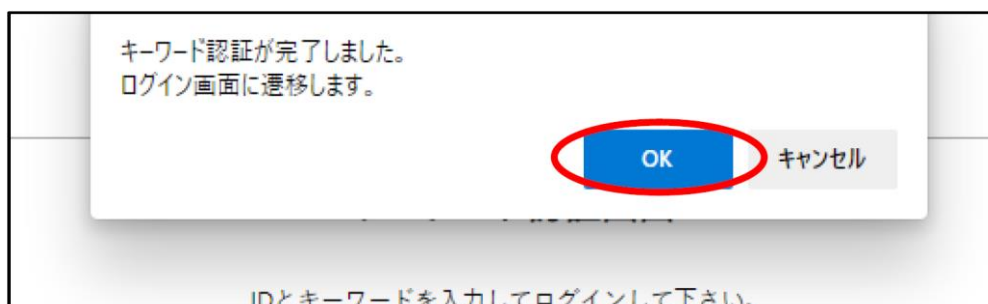


- ⑥ キーワード認証画面が表示されます。メールに記載のキーワードを入力して、「認証」をクリックします。

※この画面は入力途中で閉じないでください。

※一定時間経ってもメールが届かない場合は、「キーワード再発行画面へ」からメールを再送信してください。

- ⑦ 正しいログインIDとキーワードを入力すると、下図のダイアログが表示されます。「OK」をクリックします。



- ⑧ ログイン画面が表示されるので、IDと③で設定したパスワードを入力してログインします。

※ログインパスワードの入力を一定回数誤った場合、アカウントロックします。
その場合は、教職員支援機構へ御連絡ください。

- ⑨ 登録システムのポータル画面が表示され、初回ログインが完了となります。
※ログイン後の詳しい操作方法等は、ポータル画面右上にある「ユーザー名」→「マニュアル」の順でクリック、ダウンロードして御一読ください。

研修名	2022年度_マニュアル用	推薦機関名	北海道
開催名	開催期日	受講定員	開催場所
2022年度_マニュアル用	2022年03月10日(木)~2022年04月04日(月)	140	研修センター
2022年度_マニュアル用終了済	2022年01月01日(土)~2022年02月15日(火)	140	研修センター
2022年度_マニュアル用開催期間中	2022年01月01日(土)~2022年02月28日(月)	140	研修センター
2022年度_課題状況テスト用	2022年01月01日(土)~2022年02月28日(月)	140	研修センター
2022年度_課題状況テスト用2	2022年01月01日(土)~2022年02月28日(月)	140	研修センター
2022年度_マニュアル用2	2022年01月01日(土)~2022年04月04日(月)	140	研修センター
2022年度_講座テスト	2022年01月01日(土)~2022年04月04日(月)	140	研修センター
2022年度_研修施設テスト	2022年03月01日(火)~2022年03月04日(金)	100	研修センター
2022年度_マニュアル用3	2022年01月01日(土)~2022年04月04日(月)	140	研修センター

お知らせ

2022年02月02日(水)掲載・・・【2022年度_マニュアル用3】必要書類を掲載します。 [ダウンロード\(2022年度_マニュアル用3\)](#)

2022年02月01日(火)掲載・・・【2022年度_マニュアル用2】必要書類を掲載します。 [ダウンロード\(2022年度_マニュアル用2\)](#)

ダウンロード

2022年02月06日(日)掲載・・・ [【2022年度_マニュアル用3】研修受講修了者名簿](#)

2022年02月03日(木)掲載・・・ [【2022年度_マニュアル用3】研修受講決定者名簿](#)

2022年02月03日(木)掲載・・・ [【2022年度_マニュアル用3】利用通知書](#)

2022年02月02日(水)掲載・・・ [【2022年度_マニュアル用2】利用通知書](#)

- ⑩ 次回ログインは、当機構 Web サイト内（TOP ページ＞研修・セミナー＞参加者推薦）のログインページ（<https://training.nits.go.jp/#/PLogin>）からお願いします。



3. 研修受講者推薦画面の入力項目について

(2. ⑨ポータル画面中央の受講者列の各「編集」ボタンをクリックしてください。)

○都道府県市

○氏名

→ 姓と名の間に全角スペース (1 文字分)を入力してください。

○フリガナ

→ 全角カタカナで入力し、姓と名の間に全角スペース (1 文字分)を入れてください。

○年齢

→ 令和 7 年 3 月 31 日現在で入力してください。

○性別

→ タブから選択してください。

○所属名称

→ △△市立△△小学校、△△県教育委員会 等 正式名称を入力してください。

○職名 1

→ 指導主事、校長、教頭、教諭、事務職員 等 タブから選択してください。
選択項目に該当がない場合は「その他」を選択し、職名 2 に職名を手入力してください。(例：職名 1「その他」、職名 2「主任指導主事、研修主事、総括教諭」等)

○職名 2

→ 職名 1 で「その他」以外を選択した場合は、職名 1 の情報が自動入力されますが、具体的な職名を入力することも可能です。(例：職名 1「事務職員」、職名 2「事務長」等)

○郵便番号

→ 半角数字でハイフンを含めて入力してください。

○住所

→ 都道府県を含めて入力してください。

○所属機関種別

○電話番号

○担当教科

○教職歴

→ 勤務経験年数を入力 (令和 7 年 3 月 31 日現在)

○プラットフォームログイン ID

→ 「全国教員研修プラットフォーム (以下、「プラットフォーム」という)」を御利用の自治体からの参加者に関しては、プラットフォームログイン ID が必要となるため、プラットフォームを御利用の自治体におかれましては、候補者毎にログイン ID を御入力ください。
プラットフォームを利用しない推薦機関は「なし」と御入力ください。

○経費負担区分

→ 公費、参加者個人またはその他具体的に入力

○請求書送付先郵便番号

○請求書送付先住所

○請求書送付所属先

→ 参加者個人が負担する場合は、所属先に送付するため入力不要

○担当者

○請求書宛名

→ 例年、請求書宛名の修正依頼があるため、会計担当者に確認の上、入力

○備考

→ 特記事項がある場合は、この欄に入力してください。請求書に公印が必要な場合もこちらにその旨入力
無い場合は「無」と入力してください。

○推薦順位

→ 推薦者数が標準定員を超過した場合は、人数調整を行うことがあります。このため、候補者の推薦順位 (1 から順に) を付してください。
1 名だけ推薦する場合は「1」と入力してください。

※各項目の入力に当たっては、「(様式 1) 推薦名簿」及びその記入例も参考にしてください。

※外字については「●」を入力し、該当の文字を P D F ファイル等で機構担当者宛 (sangyou@ml.nits.go.jp) メールにて御連絡願います。